

# 平成30年度入試 推薦入学者選抜実施基準

## 1. 選抜方法等

### (1) 募集人員

各学科の募集人員は、当該学科の募集定員の次の割合とする。

- ア 普通科定員（200名）の20%（40名）以内
- イ 理数科定員（80名）の30%（24名）程度

### (2) 出願資格

次のア及びイに該当する者で、中学校長が推薦するもの

- ア 沖縄県内の中学校を平成30年3月に卒業見込みの者
- イ 推薦入学志望学科に対する目的意識が明確であり、かつ、当該学科への興味、関心及び適性を有する者

### (3) 出願の要件

次のア又はイの要件を満たしている者とする。

- ア 次に掲げる諸活動の実績等について自分を表現すること（以下「自己表現」という。）ができること。  
なお、当該活動の実績については、証明する資料（賞状、認定証、新聞記事等）の写し（A4版）を提出すること（3実績以内）。  
(ア) 文化活動（生徒会、文芸活動等）  
(イ) スポーツ活動（体育的部活動等）  
(ウ) 社会活動（地域意見発表大会等）  
(エ) ボランティア活動  
(オ) 資格取得等の活動  
（※選抜基準表（2ページ）を参照）
- イ 次に掲げる分野について表現すること（以下「個性表現」という。）ができること。  
（個性表現に必要な道具等は、志願者が準備、面接当日に持参する。）  
(ア) 音楽、美術、書道等の芸術分野  
(イ) 文芸、研究等の分野  
(ウ) 舞踊、創作ダンス、手話等の身体的活動を伴う分野  
(エ) 留学等の体験的分野

### (4) 選抜の方法

- ア 本校校長は、中学校長から提出された推薦入学志願書（推薦第1号様式）、調査書（第2号様式）、推薦申請書（推薦第2号様式）及び面接の結果に基づき推薦入学予定者を決定する。  
\* 調査書（第2号様式）には、部活動生徒がレギュラーか登録メンバーかの記載を必ずして下さい。
- イ 面接の実施  
面接は、提出された推薦申請書（推薦第2号様式）に記載された自己表現及び個性表現の申告内容その他の事項について実施する。

## 2. 選抜の手順

### (1) 選抜の方針

- ア 内申基準、実績基準に調査書、推薦書、面接結果等を加味し総合的に判断する。
- イ 内申と実績を基準表に基づき点数化する。
- ウ 原則として適性を有しない者を除く。
- エ 適性を有しない場合でも、成績優秀な者（A段階で理数科 4.8以上、普通科 4.2以上）又は、個人で県代表など特別に顕著な実績のある者は、審議対象とする。

### (2) 作業手順

- ア 適性を有しない者を除く。但し、上記エの審議対象者は除かない。
- イ 内申、実績ともにA段階の者をA圏とする。
- ウ 以下、B圏、C圏を設定して総合的に判断する。

## 3. 選抜基準

※ 適性を有しとは、内申基準に於いて評定平均が理数科4.0以上、普通科3.2以上であり、勤怠状況においては無届けの欠席、遅刻、欠課がそれぞれ3年間で10回を超えない者とする。

## 平成30年度入試 推薦入学者選抜基準表

### 1. 【内申基準】

		A段階	B段階	C段階	D段階	E段階	F段階
評定平均	理数科	4.8 以上	4.6 以上	4.4 以上	4.2 以上	4.0 以上	
	普通科	4.2 以上	4.0 以上	3.8 以上	3.6 以上	3.4 以上	

### 2. 【実績基準】

活動		A段階	B段階	C段階	D段階
文化活動	生徒会活動等		生徒会長	生徒会副会長	生徒会長・副会長以外の生徒会執行部
	文芸活動	全国・九州大会優良賞(3位相当)以上	全国・九州大会入賞以上	県代表または県大会優秀以上	県大会佳作以上
	書道	全国・九州大会優良賞(3位相当)以上	全琉コンクール(タイムス主催)最優秀賞以上、全沖縄書き初め展(新報主催)最優秀賞以上	全琉コンクール(タイムス主催)優秀賞以上、全沖縄書き初め展(新報主催)金賞以上	全琉コンクール(タイムス主催)優良賞以上、全沖縄書き初め展(新報主催)銀賞以上 地区大会優良賞以上
	美術	全国・西日本コンクール佳作以上	県コンクール優秀賞(2位)以上	県コンクール優良賞以上、地区コンクール最優秀賞以上	県コンクール入選以上、地区コンクール優秀賞以上
	音楽	全国・九州大会県代表	県大会金賞(派遣なし)、その他県大会最優秀以上	県大会銀賞	県大会銅賞、地区大会代表
	その他の文化活動		琉球古典芸能の新人賞(新報・タイムス主催) 沖縄青少年科学作品展(沖縄電社長賞以上)	沖縄青少年科学作品展(環境奨励賞以上)	沖縄青少年科学作品展(入選以上)
スポーツ	スポーツ活動	全国・九州大会出場(レギュラー、登録メンバー) 県大会3位以上(レギュラー、登録メンバー)	県大会8位以上(レギュラー、登録メンバー)	地区大会優勝(レギュラー、登録メンバー)、 県大会出場(レギュラー、登録メンバー)	地区大会3位以上(レギュラー、登録メンバー)
資格	武道	2段以上	初段	1級	3級以上
	各種資格検定試験	英検・数検・漢検・歴検・P検(2級)、理科検定(1級)	英検・数検・漢検・P検(準2級)、理科検定(2級)、歴検(3級)、危険物取扱者免状(乙)	英検・数検・漢検・P検・理科検定(3級)、歴検(準3級)、危険物取扱者免状(丙)	英検・数検・漢検・歴検・P検・理科検定(4級)
	珠算等(全珠連)	珠算10段	珠算9段 暗算10段	珠算8段 暗算9段	珠算7段 暗算8段
その他	ボランティア活動等 社会活動		3年間を通して活動した者で、県レベル以上で表彰を受けた者	3年間を通して活動した者で、地区レベルで表彰を受けた者	3年間を通して活動した者
個性表現			入試実行委員会において、自己表現の実績と同様、B段階、C段階、D段階を判定する。		

- ※ 書道・美術・琉球古典芸能については、沖縄タイムス社、琉球新報社主催の大会を原則基準とする。
- ※ 数学検定については、1次・2次ともに合格のものとする。
- ※ 選抜選手(地区・県)等については、実績に応じた段階で評価する。
- ※ 上記「スポーツ活動」について  
各種実績の大会とは、中体連主催、共催の大会を原則基準とする。  
C段階「県大会出場」とは、地区大会予選が伴う競技とする。

### 3. 【勤怠基準】 勤怠状況において皆出席があれば、加点する。

# 平成30年度入試 一般入学者選抜実施基準

## 1. 募集定員

学 科	募集定員	推薦入学募集人員	一般入学募集定員
普通科	200名	募集定員の20%（40名）以内	募集定員（200名）から推薦合格者を引いた人数
理数科	80名	募集定員の30%（24名）程度	募集定員（80名）から推薦合格者を引いた人数

## 2. 合否の判定について

### (1)各圏の設定の仕方

- ア A圏  
内申点、学力検査点に基づいて募集人員（推薦合格人員を除く、以下同じ）の80%程度的人数が含まれるように範囲を設定してA圏とする。
- イ B圏  
募集人員110%程度が含まれるように範囲を設定し、それからA圏を除いたものをB圏とする。
- ウ C圏  
A圏とB圏を除いた残りをC圏とする。

### (2)合格者、不合格者の決め方

- ア A圏の中で下記の条件1の（a）、（b）、（c）のいずれかに該当するもの以外は合格者とする。ただし、第二志望の者はB圏として扱う。
- イ C圏の中で条件2の（a）、（b）、（c）、（d）、（e）のいずれかに該当するもの以外は不合格とする。
- ウ B圏の者にア、イで保留になった者を含めて条件2の（a）、（b）、（c）、（d）、（e）により総合的に判断し、合格者を決定する。

#### 条件1

- （a）行動の記録が著しく悪い者
- （b）正当な理由がなくて、出欠の記録が著しく悪い者  
理数科 各学年において、無届欠席、無届欠課、遅刻のいずれかでも5回以上ある者  
普通科 各学年において、無届欠席、無届欠課、遅刻のいずれかでも5回以上ある者
- （c）評定について  
理数科 評定2以下がある者  
普通科 評定1がある者

#### 条件2

- （a）観点別学習状況が著しく良い者
- （b）学力検査点が著しく高い者
- （c）内申点が著しく高い者
- （d）行動の記録が著しく良い者
- （e）部活動等で顕著な実績を有する者

#### ※第2次募集について

第2次募集は、一般入学における選抜の結果、合格者が定員に満たなかった場合に行う。